

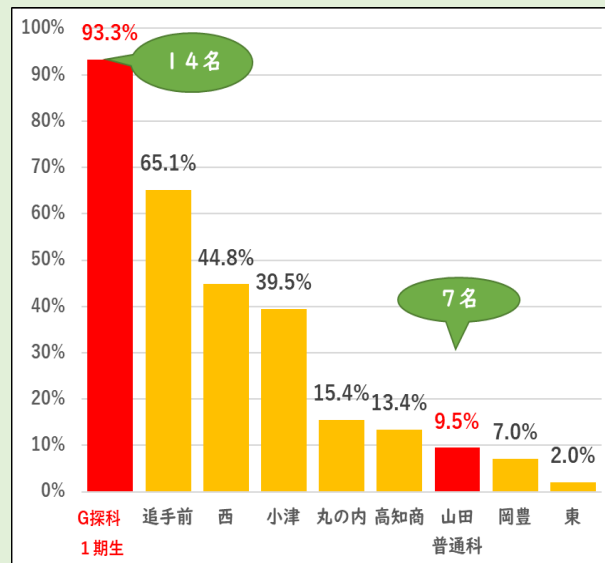
山田高校グローバル探究科 1期生の進路状況

2023年1月13日（土）付けの高知新聞に本校グローバル探究科の1期生（2023年3月卒業）の進路状況や、現役生たちの取り組みが掲載されました。

1期生たちは、担任の先生、学科の先生方のご指導を素直に受け入れ、探究や学習、部活動等の学校生活を楽しみながら自分自身の力を伸ばし、最終的には、**国公立大学志願者14名が全員合格**という成果を上げ「山田高校グローバル探究科とはこういう力がつく学科だ」と言える、一つの形を作り上げてくれました。

探究活動や普段の授業を通して、疑問を持つこと・仮説を立てること・情報を集めること・さまざまな可能性を検討して考察すること・わかりやすくまとめること・わかったことを他者に伝えること、という作業を何度も繰り返してきたG探生徒は、受験においても培った力を大いに活用できたのではないかと思います。

令和4年度 国公立大学合格率



(山田高校調べ)

グローバル探究科の現役生の取り組み

現役生たちも2期生（現3年生）から4期生（現1年生）まで、各学年でそれぞれが探究学習を進めています。毎年度末に発行している論文集は、本校HP内にも掲載しているのでぜひご覧ください。

入学人数の少なさは引き続き課題ではありますが、今年は人数の少なさを利点と捉え、3学年全体でイベントや行事を行う機会も多く持ちました。縦のつながりを生徒同士で感じられるよう、縦割り班での活動を多くした行事を計画したこともあり、探究でも「2期生の論文に載っているこの情報が、私たちの探究にも利用できそうだから、話を聞きに行ってみよう」というような「相互の学び合い」に発展したケースも見られました。

また、G探1期生3名を含む14名の工科大生がサポーターとして探究授業についてくれていることも心強いです。現役の大学生と一緒に検討したり、実験をしたりすることから受ける刺激は大きいものがあります。サポーターの学生も生徒たちと共に資料を探し、大学生の視点から資料づくりや発表に関する助言をしてくれています。年の近い大学生と触れ合うことも、生徒たちのモチベーションになっているように思います。

今後の山田高校グローバル探究科生徒の取り組みに、ぜひご期待ください。



3学年合同で探究運動会を実施



工科大生のサポーターと一緒に



夏の英語集中講座も3学年合同で